



志中の風

『自主』『友愛』『奉仕』

令和4年1月25日発行

橋本左内「啓発録」に学びましょう

校長 長元 武彦

当初は2月1日に「志講話」を計画していました。「志講話」は、数え年の15歳（現在の14歳）になる元服にちなみ、2年生のみならず本校生徒全員が「志」を立てることを目的とした講演会です。今年も、講師のスケジュールの都合上12月22日(水)に「志講話」を実施しました。

さて、皆さんは幕末に活躍した福井藩の橋本左内をご存知でしょうか？橋本左内は西郷隆盛とも交流があった人物です。1877年9月24日、城山において西郷らが自決し西南の役が終結しました。西郷が亡くなる際、懐に入れていたものに、20年くらい前に左内から受け取っていた手紙があったそうです。このように橋本左内は、西郷にとって同志であり永遠の友人でもあった人物でした。

その橋本左内が数え年の15歳（現在の中2）の時に記した『啓発録』の内容を紹介します。

① 「稚心（ちしん）を去る」

稚心とは、子供じみた幼稚な心のことです。自分の好きな遊びにばかり熱中し、楽なことばかり追いかけ、勉強や稽古事をおろそかにし、いつまでも父や母に甘えるなどする心です。その稚心を捨て去りなさいということです。

② 「氣を振るう」

氣とは、負けないとする気持ちです。努力をせず負けるのは恥ずかしいことで、負けることを悔しく思い、頑張ろうとする心のことです。

③ 「志を立つ」

志とは生きる目標を定めるということです。本校の校名にも複数入っています。高い目標を掲げ、常に目標に向かいつつ自らを省みて、自分の足りないところを努力し高めていくことが大切です。

④ 「学に勉む」

勉学とは、優れた人物の立派な行いに学び自らもそれを実行し、自己の力を出し尽くして目的を達成するまで続けるとことです。自ら求めて本を読み知識を深めることも大切ですが、学んだことを実践に移すことが大切です。

⑤ 「交友を択（えら）ぶ」

交友とは、友人のことです。友人には良き友である益友えきゆうと悪しき友である損友そんゆうとがあるそうです。その違いを見極め、それぞれに対応することが求められます。益友には自分から積極的に交わり、大切にすべきです。損友には、自分の力でその人の良くない面を正しい方向へ導いていくべきです。

かなり簡略化しましたが、この『啓発録』5か条を左内は数え年の15歳の時に記しました。本校生徒だけでなく、地域や家庭にも是非お知らせしたい内容だと思いましたので、紹介します。

リモート始業式の様子

1月11日(火)の始業式は、コロナウイルス感染症予防のため、全体で集まることを避け、放送による各教室での実施となりました。式では、各学年と生徒会代表が、3学期の抱負と決意を述べました。リモートではありましたが、生徒たちは、決意を新たに3学期のスタートを切ることができました。



避難訓練～火災発生を想定して～

1月19日(水)の6校時に、本校A棟1階の給湯室から出火したという想定で、避難訓練を実施しました。

当日は、火災発生後の放送による避難指示から、約5分後に全員が校庭の所定の場所まで避難を完了できました。火事や地震などの災害は、一刻の猶予ありません。できるだけ早く避難できるよう、今後も油断することなく、不測の事態に備えさせていきます。



学校運営協議会委員による面接指導

3年生は、1月23日(日)から私立高校受験が始まりました。その後3月3・4日に行われる本県公立高校受験等までの期間に行われる試験では、面接が実施される学校があります。新型コロナウイルス感染症予防策のため実施校は減っていますが、今後の対策をしておく価値があります。そこで本校では、昨年度に引き続き、3年生を対象として1月20日(木)に学校運営協議会委員の方々を面接官とする「面接練習」を実施しました。金工室、数学指導教室などに分かれ、本番に近い形式で行いました。生徒の中には、緊張して面接官を直視できなかったり、回答に詰まったりする場面も見られましたが、懸命に考えて答えようとする真剣な気持ちが伝わってきました。この貴重な体験を面接や今後の生活に生かし、目標を達成することを願っています。



遅刻者0を目指して

昨年11月頃から、朝の遅刻者が増加しており、今年に入ってからもなかなか減りません。本校では、**8時5分までに生徒玄関を通過し、8時10分までに教室に着席**するよう指導しています。早めの登校で、落ち着いた気持ちで朝自習や読書をさせ、気持ち良く1日をスタートさせることを期待しています。保護者の皆様も、子どもたちの余裕をもった登校へのご協力をよろしくお願い致します。

徳重先生文部科学大臣優秀教員受賞！

本校で技術科を担当し、現在教務主任を務めている **教諭**が、1月13日(木)に「**文部科学大臣優秀教員表彰**」を受賞しました。これまでの教科指導等におけるICT活用での先導的な取り組みなどが評価されたものです。地道に教育活動に取り組んできた本校職員を代表し、**教諭**が受賞されたと考えています。表彰式は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、オンラインで実施されました。今後も、全職員が一丸となり、生徒に学力をつけるための研修と実践を積み重ねて参ります。



【2月の主な行事予定】

※ 現時点での予定です。諸状況により変更があり得ますので、あらかじめご了解ください。
3日…PTA文化広報部会(18:30～)
8日～10日…学年末テスト(学年+1時間の家庭学習の取組を!)
11日…建国記念の日(祝日)

「志講話」パラリンピアン講演会

昨年12月22日(水)の6校時、本校体育館で志講話を兼ねたパラリンピアン「二條実穂(にじょう みほ)」さんの講演会を開催しました。二條さんは、作業中の事故で車いす生活となった後、2004年から車いすテニスを始め、2016年のリオデジャネイロパラリンピックでは、日本代表として出場し、ダブルス4位に入賞した経歴の持ち主です。現役引退後は、障がい者スポーツの発展に貢献する活動を続けておられます。そんな彼女が、講話の最後に次のメッセージを生徒へ贈ってくださいました。

- ① 「好き」という気持ちを大切にすること。
懸命に取り組んだその先に、夢の実現がある。
- ② 夢を言葉に出して、実現すると宣言すること。
それによって、周りに自分の応援団ができる。
- ③ 他人と自分を比べて迷ったりしないこと。
過去の自分と今の自分を比べて改善する。
- ④ 簡単に「無理」と言って、諦めてしまわないこと。
チャンスを自分で消してしまふことになるから。
生徒たちが、これら珠玉の言葉を今後生かし、志を果たすことを期待しています。



「春の祭典」2年4組「銀賞」受賞！

今月15日(土)、鹿児島市宝山ホールで、県の合唱コンクールである「春の祭典」が実施されました。本校からは、7月に行われた校内合唱コンクールにおいて最優秀賞に輝いた2年4組が出場しました。当日、2年4組の皆さんは会場でハーモニイを響かせ、見事「銀賞」に輝きました。本校の代表として、心を揃え合唱を披露した2年4組の皆さんに倣い、歌声が響く志布志中学校となることを期待しています。

朝のボランティア活動

本校では、生徒会活動の一環として朝の清掃活動を行っています。8時を目処に、正門前の落ち葉を集めたり、ゴミを拾ったりし、環境整備に努めています。今後も、生徒が自主的な活動を通して、「ボランティア精神」を向上させることを願っています。



※ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、学級・学年閉鎖や臨時休業とすることもあり得ますのでご理解の上、ご協力ください。

12日…土曜授業、おやじの会(閉講式)
15日…PTA役員会・理事会
17日…1・2年授業参観、学年PTA
23日…天皇誕生日(祝日)
25日…家庭教育学級閉講式